

平成23年度
実施事業

事務事業名 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金

| 区分 | No | 名称 |
|--------|-----|--|
| 章 | 3 | 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち |
| 節 | 2 | 自然を活かした産業の育成 |
| 施策 | 1 | 特色ある農業・漁業の推進 |
| 小分類 | 4 | 都市生活者・他産業従事者との交流促進 |
| 主要な施策 | 2 | マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進 |
| 事務事業番号 | 001 | 事業開始年度 昭和 52 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計 |

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 農林水産G |
|-----|-------|-------|-------|

事務事業の概要

《Plan・Do》

| | |
|----------|--|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記入してください) |
| | いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図る。 |
| 事業内容及び実績 | (事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください) |
| | 登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施している「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助する。 【平成23年度事業実績】 サケの使用尾数：400尾 |
| 今後の方向性 | (次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) |
| | 登別漁港産秋サケの鮮度をPRし地場水産物の消費拡大を図るため、引き続き、いぶり中央漁業協同組合が行う「朝揚げ鮭の抽選即売会」を支援する。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) |
| | 登別市水産業振興対策事業補助規則 |

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

| 区分 | | 単位 | H22年度 決算 | H23年度 決算 | H24年度 当初予算 | H25年度 見込 | H26年度 見込 |
|--------|----|----|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | |
| その他 | 名称 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 名称 | 千円 | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 事業費 合計 | | | 300 | 300 | 300 | 300 | 300 |

指標の推移

《Check》

| 区分 | | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 実績 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 |
|----------|-----------|----|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| 成果 指標 | 漁港まつり来場者数 | 人 | 目標値 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | | | 実績値 | 30,000 | 30,000 | | | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |

現況 《Check》

| 現状の状態、問題点、課題等《事業前》 | 具体的な対策、解決の方向性《事業後》 |
|--|---|
| <p>現状の課題</p> <p>これまで、登別漁港まつりに対して支援していた。登別漁港まつりは、水産業の健全な発展、活力ある水産業や漁村地域の振興を目指す将来構想である「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つであるが、市内のイベントは自主自立の方針とし公的補助を行っていないことから、今後は、「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」のコンセプトである地場水産物のPRや消費拡大に向けた事業に対する支援とした。</p> | <p>具体的な対策</p> <p>登別漁港まつりにおいて、いぶり中央漁業協同組合が地場水産物の消費拡大やPRのため実施している「朝揚げ鮭の抽選即売会」の経費の一部を補助することに変更した。</p> |

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|-----------------------------------|------------------------|-------------|--|
| 市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？ | 市が主体に行うべき事業である | 判断理由及びその他所見 | 登別漁港産水産物の消費拡大や地産地消が図られる。 |
| | 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である | | |
| | 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である | | |
| | 国、道、民間等の事業と重複・類似している | | |
| 2. 事務事業の必要性について | | | |
| 市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？ | 市民、団体等から具体的な要望がある | 判断理由及びその他所見 | 新鮮な地場水産物を低価格で提供することで、地場水産物の良さを認識してもらい、水産応援団となってもらうことで地産地消の推進が図られる。 |
| | 市民アンケートの結果から必要性が高い | | |
| | 社会情勢、地域事情等から必要性が高い | | |
| | 市民の大部分が関連することから必要性が高い | | |
| 3. 事務事業の効率性について | | | |
| 事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？ | 低予算、少労力で高い効果をあげている | 判断理由及びその他所見 | いぶり中央漁業協同組合が実施している事業であり、その経費の一部を支援することで高い効果をあげている。 |
| | 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い | | |
| | 多額の経費や労力を要するがやむを得ない | | |
| | 将来的に効率性を向上できる | | |
| 4. 事務事業の成果について | | | |
| 目的を達成するための成果はあがっていますか？ | 成果指標の向上が見られる | 判断理由及びその他所見 | 来場者数も多く賑わっており、事業実施前から行列ができています。多くの市民に地場水産物の良さを認識してもらい、最大の機会において、事業を実施することにより大きな成果をあげている。 |
| | 市民、団体等の声から成果を感じられる | | |
| | 目に見える形で成果があがっている | | |
| | 成果の把握は困難である | | |

担当グループによる評価 《Check》

| | | |
|----|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 登別漁港まつりは、水産業の健全な発展、活力ある水産業や漁村地域の振興を目指す将来構想である「登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン」の重要な取り組みの一つであり、市内外からの来場者数も多い。登別漁港まつりにおいて本事業を実施することにより、登別漁港産水産物の良さを認識してもらい、消費拡大や地産地消が図られている。 |
|----|----------------------|---|

行政評価会議による評価 《Check》

| | | |
|----|----|--|
| 維持 | 備考 | |
|----|----|--|